



やるぎんき ほんき さき 木佐木

神奈川県議会議員
日本共産党

2026.1.7
木佐木ただまさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田3-147-6
TEL：045-511-1021
Profile
・1984年(41歳)山口県出身
・鶴見区馬場在住
・神奈川大学法学部卒
・よこはま健康友の会会長
・横浜東民商顧問

負担増と福祉切り捨てに「NO」！本会議反対討論



2025年12月18日に行われた第3回定例会(後半)本会議において、日本共産党神奈川県議会議員団を代表し、県民に負担を強いられる議案や、切実な願いを不採択とした委員会決定に対し、反対討論を行いました。県民生活が物価高騰などで厳しい中、県が提案した「福祉の後退」「利用料値上げ」「議員・知事のボーナス引き上げ」の問題点を厳しく指摘しました。

公的責任を後退させる

「中井やまゆり園」の独法化

県立障害者支援施設「中井やまゆり園」を地方独立行政法人化する議案に対し、強く反対しました。県が示した中期目標案では、施設の規模縮小や「通過型施設」への転換が掲げられていますが、現在、県内の障害者支援施設やグループホームの待機者は少なくとも1,067人に上ります。家族の高齢化などで入所ニーズが切実であるにもかかわらず、定員縮小を進めることは最後のよりどころさえ奪う「当事者目線の欠落」であり、県が自らの責任でセーフティネット機能を維持すべきです。

県民負担の増大と「お手盛り」ボーナスに反対

以下の議案についても、県民生活を守る立場で反対しました。

水源環境保全税の延長：県税が増収傾向にある中、超過課税をさらに5年間延長する必要はありません。公共施設の利用料値上げ：「花菜ガーデン」の会議室利用料(約5倍)や駐車場代(約2倍)、秦野戸川公園少年野球場の上限額引き上げ(470円→1,070円)は、物価高騰対策に逆行するものです。

○特別職・議員のボーナス引き上げ：福祉サービス不足や負担増が課題となる中で、知事や私たち県議会議員の期末手当を引き上げることは、到底県民の理解を得られません。

平和と教育、医療を守る請願の採択を

各委員会で不採択とされたものの、県民の命と暮らしを守るために重要な以下の請願について、採択すべきと主張しました。

主な請願・陳情・意見書の審査結果 (25-3定b)

番号	件名	共産	自民	未来	公明	維新	県政	わ町	港南	創進	清進	審査結果
31	〇 T C類似薬の保険適用除外や追加負担を行わないよう国に意見書の提出を求める請願	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
32	私たちは、海上自衛隊へのトマホーク配備を望みません配備撤回について国へ意見書の提出を求める請願	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
34	教育費の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
81	介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善に関する意見書提出を求める陳情	/	×	×	×	×	×	/	/	/	/	不了承
83	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	○	×	×	×	×	/	/	×	/	/	不了承
91	今日の物価高騰を鑑み、中小企業・個人事業主の経営支援として、消費税率を5%以下に引き下げる国に求める意見書提出の陳情	/	×	×	×	×	/	/	/	/	/	不了承
93	付託委員会での請願や陳情の審査方法の改善を求める陳情	/	△	△	△	△	/	/	/	/	/	継続審査
94-2	ゆきとどいた神奈川の障害児教育を求める陳情	○	×	×	×	×	/	/	/	/	/	不了承
意見書	唯一の戦争被爆国として非核三原則の法制化を求める意見書(案)	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
	唯一の戦争被爆国として国はである非核三原則の尊重と堅持を求める意見書(案)※(上記案への対案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

YOUTUBEでも動画で紹介しています⇒

